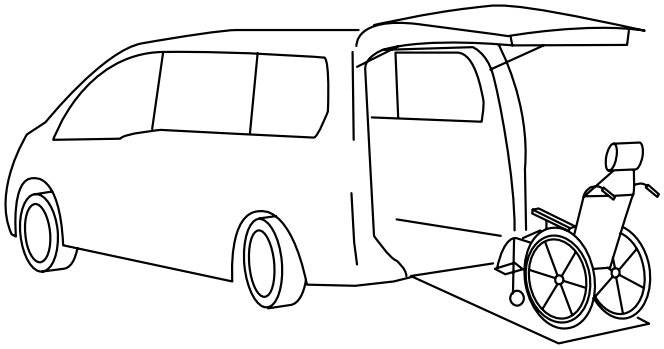
愛と勇気の車いす物語

保管用
よくお読みください
保証書別途

車載用車いす AYG-22

取扱説明書



1. 安全上のご注意 1～2
2. 車いすの各部名称 3～4
3. 付属品 4
4. ご使用方法および操作方法
（1） 車いすの拡げ方 5～6
（2） 車いすのたたみ方 7～8
（3） ブレーキの使用方法 9
（4） フットサポート（脚部）の使用方法 10
（5） ヘッドレストの使用方法 11
（6） 車いすの保守・点検 12～13
（7） 車いすの主な乗り方 14～15
（8） 仕様 16

このたびはカワムラサイクルの車いすをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、車いすを安全にご使用いただくために必要な注意事項や正しい使用方法が記載されています。

※ご使用になる前に必ずお読みください。また、ご利用いただく際には必ず携帯してください。

あい＆ゆうき

1.安全上のご注意 ※ご使用前に必ずお読みください。

禁 止

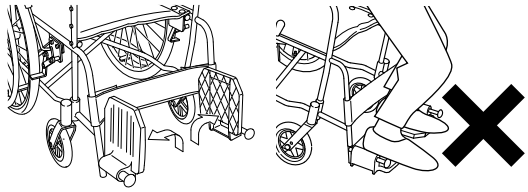
道路交通法で禁止されている行為、
または当車いすの保証範囲外の行為

●道路通行の際は、必ず右側通行してください。また、歩道を通行してください。

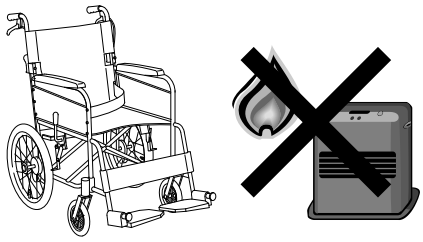
警 告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡
または重傷を負う可能性が想定されるもの

●車いすに乗り降りの際は、必ずフットプレート（ステップ板）を上に跳ね上げてください。
※絶対にフットプレート（ステップ板）の上に乗って車いすに乗り込んだり、降りられるときに立ち上がらないでください。車いすごと転倒し危険です。



●車いすを火気に近付けないでください。
※シート部が燃えたり、熱くなった金属部分でやけどするなど、危険です。



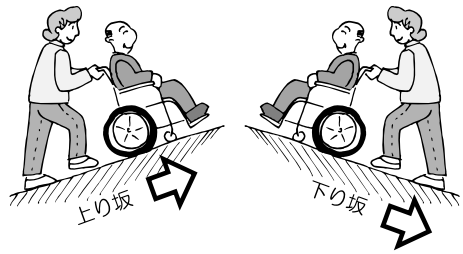
●階段などで利用者が乗ったまま車いすを持ち上げる場合、固定されているパイプを二人以上でしっかり支えてください。

その際、

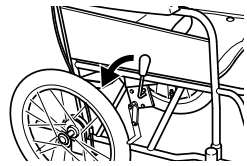
フットサポートを持たないでください。
背もたれの押手部を持ち上げないでください。

これらの箇所を持ち上げると、フットサポート等が車いすから外れるなど、大変危険です。

●傾斜地や坂道の上り下りの際は、必ず介助者に支えてもらって行ってください。上るときは前向きで、下るときは後ろ向きで走行してください。
※坂道を前向きで下ると乗っている人が前へずり落ちる、前へ倒れる、スピードが出やすいなど、非常に不安定になり危険です。また、介助者がバランスを失った時も危険です。



●車いす乗降時には、必ずブレーキをかけて車いすが固定されていることを確認してください。



※傾斜地では駐車しないでください。傾斜地ではブレーキをかけても車いすが動く場合があり、大変危険です。
※滑りやすい床面ではブレーキをかけても車いすが動く場合があります。

●走行中は、足を必ずステップ板（フットプレート）の上に乗せておいてください。
※足を地面に付けたりフットプレートから外すと、フットプレートと地面の間に足が巻き込まれてケガをする恐れがあり、危険です。
※足こぎをされる場合はステップ板を立ててご使用ください。

⚠ 警 告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

●段差や凸凹などのある路面等を走行するときは、身体が前のめりにならないよう充分ご注意ください。
●踏み切りの横断は大変危険です。必ず介助者と一緒に横断してください。
車輪をレールに対して直角にして走行してください。
斜めの角度で進入するとレールの溝にはまって危険です。
●背もたれに重いものなどを引っ掛けないでください。転倒の危険があります。
●勝手に改造・分解しないでください。強度や耐久性が劣化して危険です。(保証対象外)
●介助者は、絶対に車いすに乗って介助しないでください。
●車いすを物品運搬など車いす以外の目的に使用しないでください。
●座シート部以外に腰掛けないでください。
●車いすでの走行中は、身体を乗り出さないでください。車いすが不安定になり危険です。
●車いすのままチェアキャブに乗車したとき車いすのブレーキをかけ、車両の取扱説明書にしたがい確実に車いすを固定してください。また、シートベルトも車両の取扱説明書にしたがい正しく装着してください。

⚠ 注 意

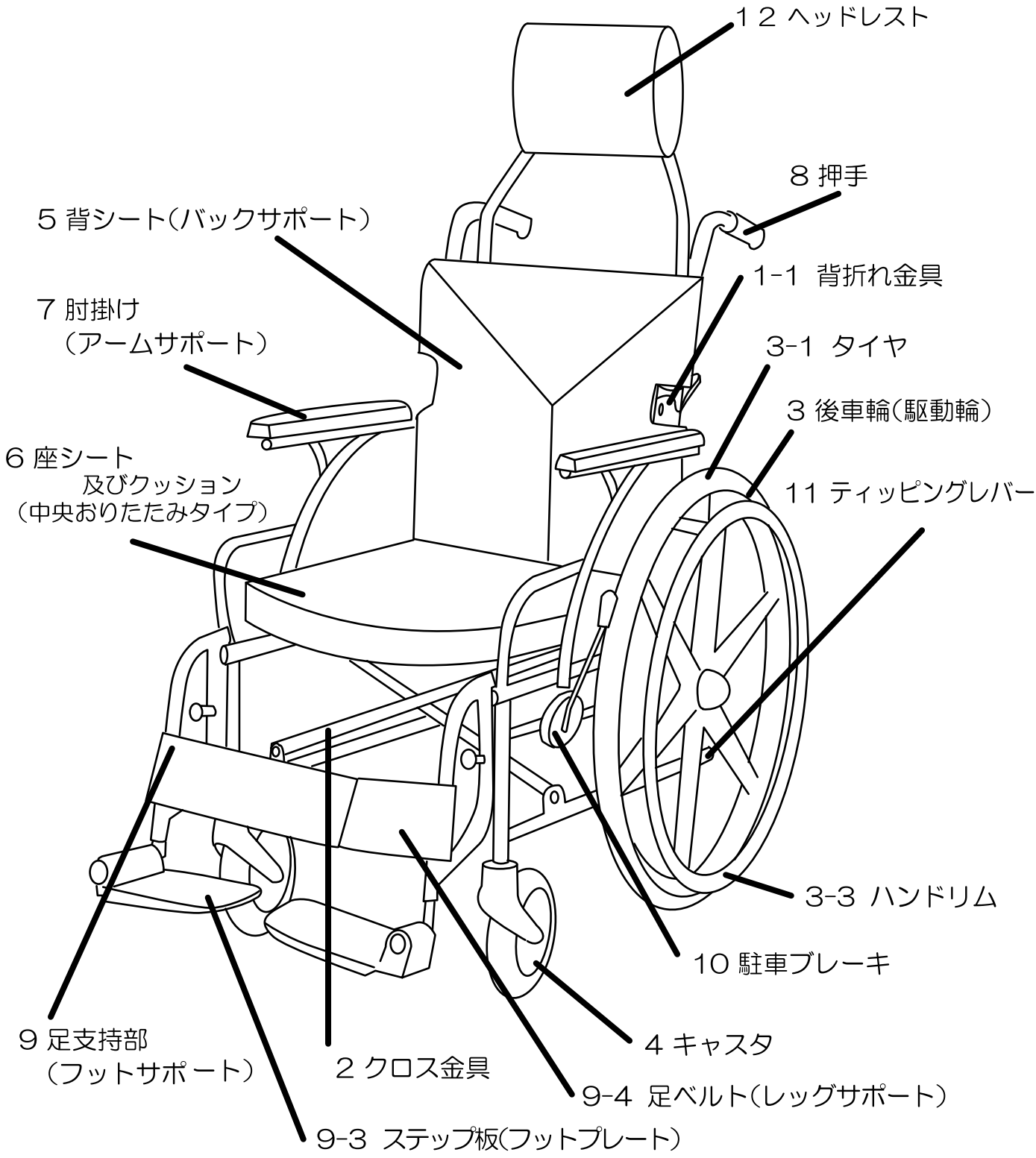
取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定されるものおよび物的損害のみの発生が想定されるもの

●車いすを投げたり落としたり、衝撃を加えないでください。
●夜間、雨降りのときは通行者や車から発見しにくくなります。充分にご注意ください。
●痴呆症の方は、車いすのシート、部品等を飲み込むことが考えられますので介助者の方は充分ご注意ください。
●回転している車輪に指を差し込まないように注意してください。
●タイヤをもって車輪を操作しないでください。ブレーキで指をはさみ、大変危険です。
●下記のようなところに車いすを放置しないでください。
・車道に近いところ　・人通りのあるところ　・路面に段差や凸凹のあるところ
・湿気の多いところ　・雨風の当たるところ　・傾斜地
●介助者の方は、搭乗者の身体の一部または衣服がタイヤ、スポーク、キャスタ及び地面、建物、通行者に触れたりはさまったりしないよう、車いすに安全に座れているかを確認してから操作してください。
●車いすに表示されている「使用者最大体重」は、積載物も含んだ重さです。最大体重を守ってご使用ください。

SGマーク制度について

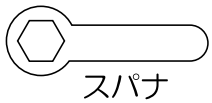
SGマーク制度は、SGマーク付製品の欠陥により発生した人身事故に対する賠償制度です。
事故原因や被害の程度に応じて、製品安全協会が賠償措置を実施いたします。
(ただし、消費者側の一方的な過失、もしくは誤使用に基づくような場合は除きます。)

2. 車いすの各部名称

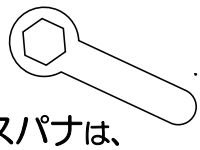

１２ ヘッドレスト
８ 押手
５ 背シート(バックサポート)
1-1 背折れ金具
７ 肘掛け
（アームサポート）
3-1 タイヤ
３ 後車輪(駆動輪)
６ 座シート
及びクッション
（中央おりたたみタイプ）
11 ティッピングレバー
3-3 ハンドリム
10 駐車ブレーキ
９ 足支持部
（フットサポート）
２ クロス金具
４ キャスタ
9-4 足ベルト(レッグサポート)
9-3 ステップ板(フットプレート)

1 本体フレーム		車いすを構成している金属製枠組み。アルミ製
	1-1 背折れ金具	背折れ式の車いすに付いています。 車いすを折りたたむ際、さらにコンパクトになります。
2 クロス金具(折りたたみフレーム)		車いすの折りたたみ機構。
3 後車輪(駆動輪) (樹脂車輪)	3-1 タイヤ	空気入タイヤ
	3-2 リム	車輪の枠。
	3-3 ハンドリム	ここに手をかけて車輪を回し、操作します。樹脂製
	3-4 ハブ	車輪の中心部にある回転軸。
4 キャスタ	4-1 前車輪	ソフトタイヤ
	4-2 キャスタヨーク	樹脂製
5 背シート(バックサポート)		利用者の背部がよりかかるところです。
6 座シート及びクッション(中央おりたたみタイプ)		座面のこと。クッションをのせて使うと座り心地が良くなります。
7 肘掛け (アームサポート)	7-1 肘パッド(アームサポートパッド)	肘をのせるところ。
	7-2 側板(スカートガード)	衣服等が外に落ちないようガードします。
8 押手	8-1 ハンドグリップ	介助者が車いすを移動させる時に握る部分。
9 足支持部 (フットサポート)	9-1 レッグパイプ	フットサポート支持パイプ。ステップポストが中に入ります。
	9-2 ステップポスト	レッグパイプの中に入り、ステップ板の高さを調節できます。
	9-3 ステップ板(フットプレート)	足をのせる板。
	9-4 足ベルト(レッグサポート)	足が後ろに落ちないように支えます。
	9-5 バンパーゴム	衝突した際、車いすを衝撃から守る役割をします。
10 駐車ブレーキ (タッグルブレーキ)	10-1 ブレーキ本体	エッグストップ
	10-2 ブレーキグリップ	ブレーキをかけるときに握る部分。
11 ティッピングレバー		テコの原理で、このレバーを踏むと前輪キャスターが浮き上がりやすくなり、段差乗越えがしやすくなります。
12 ヘッドレスト		頭部をささえます。

3.付属品 ※車いすの種類によって付属品の内容が異なります。



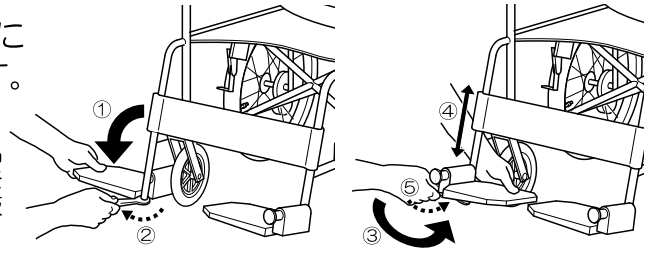
スパナ



スパナは、
このように使います

※出荷時は、フットプレートが外側に回転させて折りたたんであります。

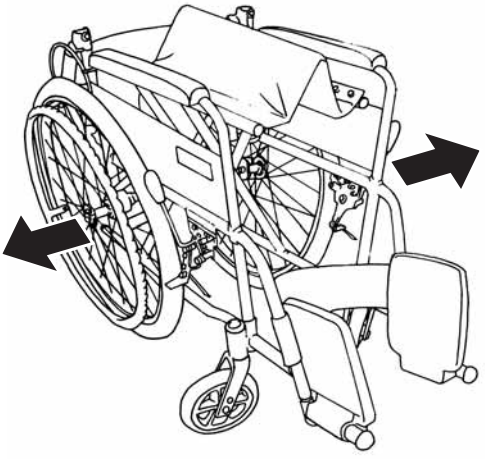
この場合、①ステップ板を外側に倒し、②付属品のスパナを使ってステップポスト先端ボルトを少し緩め、③内側へ回転させます。④ステップ板の高さを調節し、⑤しっかりと締め付けます。



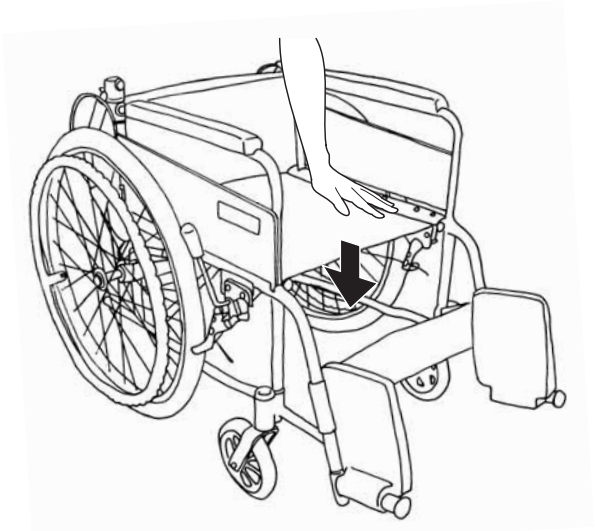
4. ご使用方法および操作方法

（1）車いすの拡げ方

①左右に拡げます。

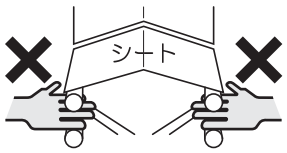


車いすの後方に立ち、左右の肘掛けを持って両側に拡げます。



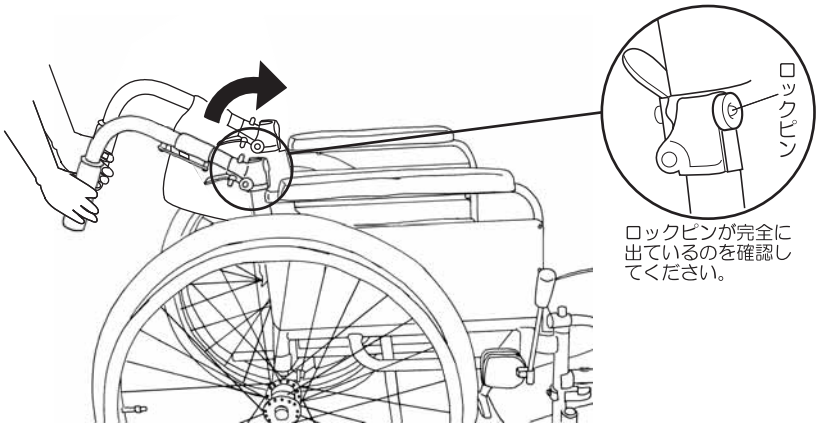
片方の肘掛けを持ち上げて車輪を少し地面から浮かせ、座面端のパイプ部分を手で押し下げます。

⚠ 注 意

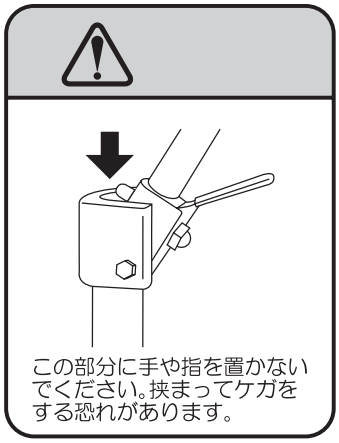


座パイプの横や下に手や指を入れないように注意してください。
挟まってケガをする恐れがあります。

②背もたれを起こします。



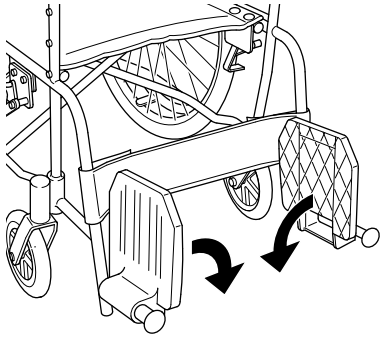
ロックピンが完全に出ているのを確認してください。



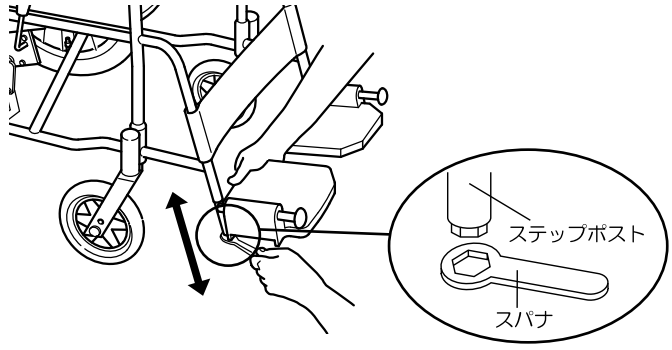
この部分に手や指を置かないでください。挟まってケガをする恐れがあります。

車いすの押手部分を持ち、上方へ引き起こすように（矢印の方向へ）持ち上げてください。
※このとき、片側の手で車いすが動かないように支えていてください。
　押手が確実に固定されていることを確認してください。

③フットプレートを調整します。



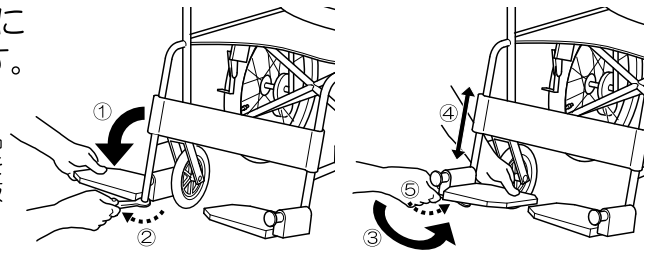
フットプレートを内側にたおします。



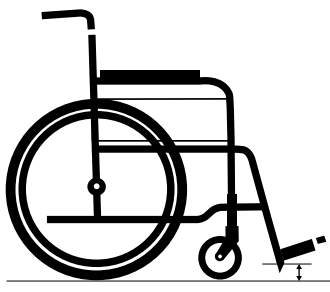
付属品のスパナを使って、ステップポスト先端の
ボルトを緩め、ステップ板を適当な高さに合わせた後、
ボルトを完全に締めてください。

※出荷時は、フットプレートが外側に
回転させて折りたたんであります。

この場合、①ステップ板を外側に倒し、②付属品のスパナを使ってステップポスト先端ボルトを少し緩め、③内側へ回転させます。④ステップ板の高さを調節し、⑤しっかりと締め付けます。



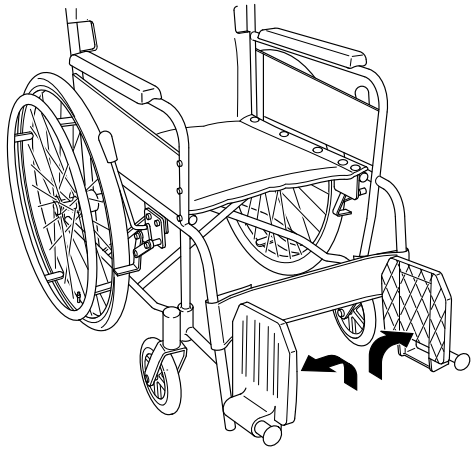
⚠ 注 意



ステップポストの高さは地面より５センチ以上でご使用ください。
下記車両につきましては表の寸法としてください。
低すぎると凸凹路面や障害物にフットプレートがあたり、転倒する
恐れがあります。

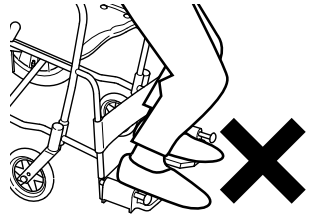
（２）車いすのたたみ方

①フットプレートを跳ね上げます。



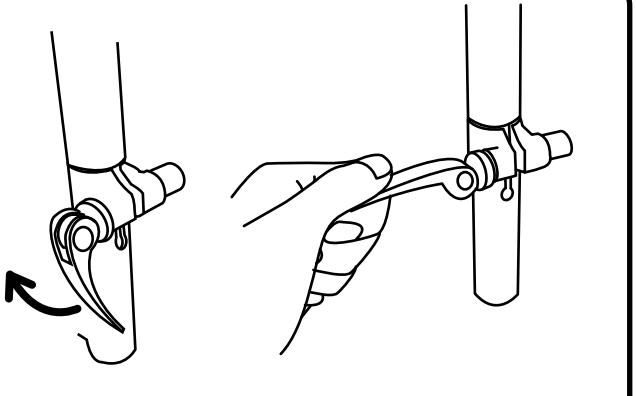
フットプレートを拡げるように上方へ（矢印の方向へ）跳ね上げます。

⚠ 警 告

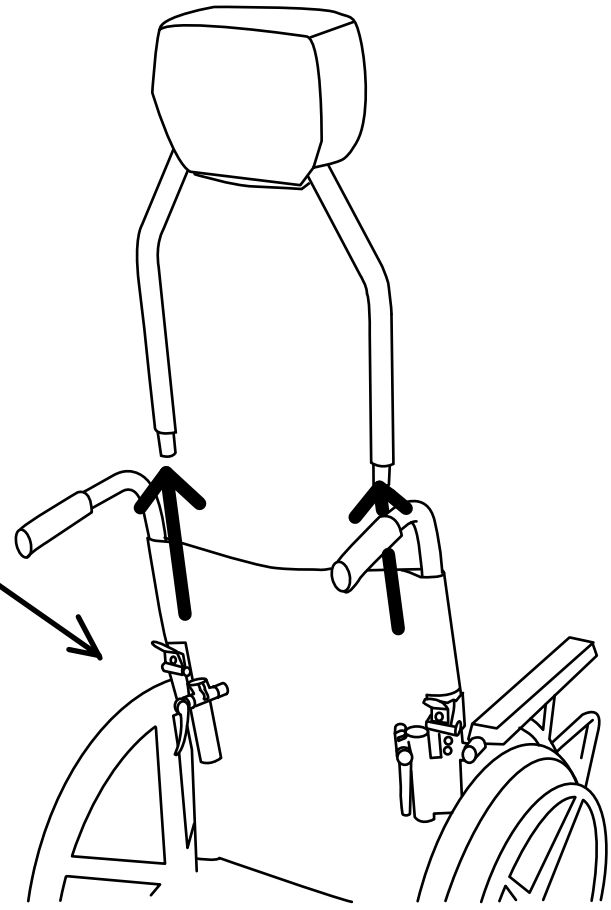


車いすの乗降時は、絶対にフットプレートの上に乗らないでください。
車いすごと転倒し、大変危険です。

②ヘッドレストを取り外す。

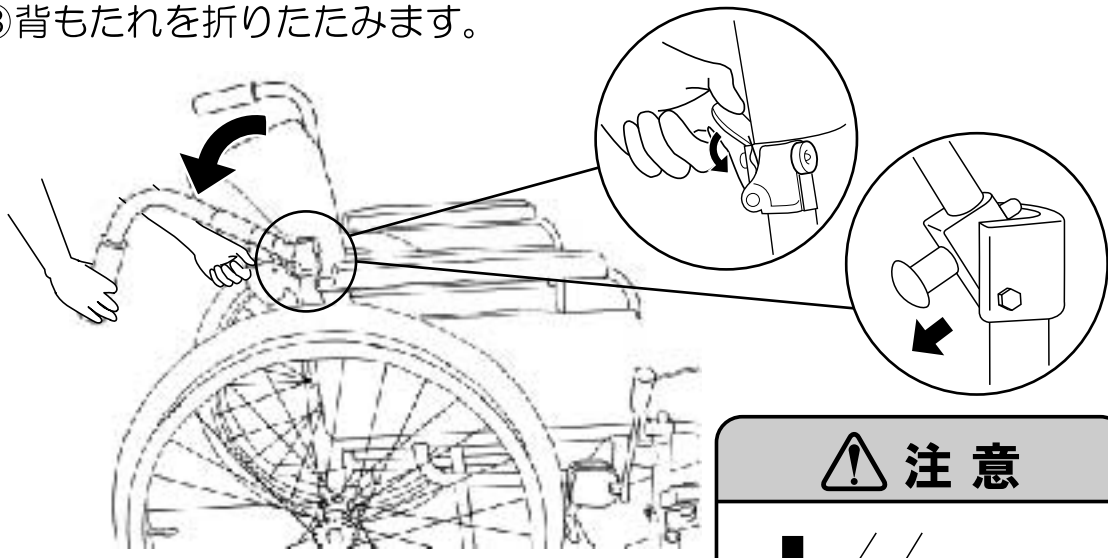


①ヘッドレスト固定レバーを起します。



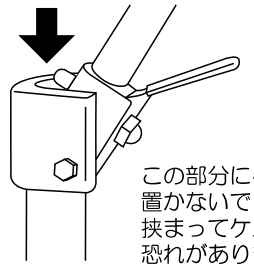
②ヘッドレストをフレームから外します。

③背もたれを折りたたみます。



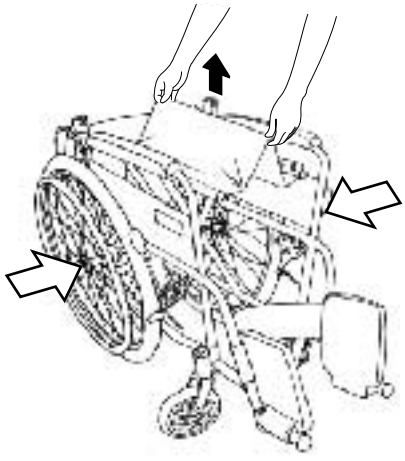
ハンドグリップを握り、一方の手で背折れ金具の
レバーを後方へ引きながら押手を倒します。
さらに反対側も同様にして押手を倒します。

⚠ 注 意



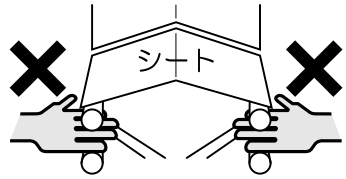
この部分に手や指を
置かないでください。
挟まってケガをする
恐れがあります。

④シートを折りたたみます。



座シートの前方と後方の中央部を
同時に持ち上げます。

⚠ 注 意



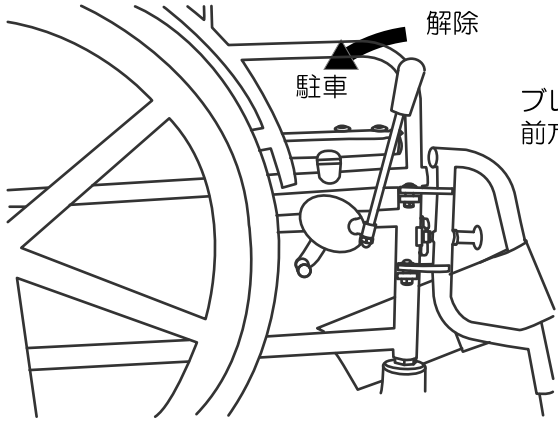
座パイプの横や下に手や指を
入れないように注意してください。
挟まってケガをする恐れがあります。

(3) ブレーキの使用方法

パーキングブレーキ(駐車ブレーキ)

車いす乗降には、必ずパーキングブレーキをかけて、車いすが固定されていることを確認してください。

※空気入タイヤの空気圧が低すぎるとブレーキの効きが悪くなります。
目安として、タイヤを手で押してもやや硬い程度(軟式野球ボール程度の硬さ)に空気を入れてください。



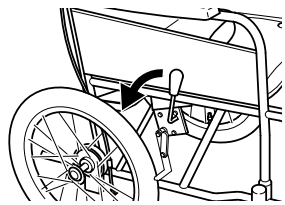
ブレーキレバーを後方に引くとロックし、
前方に倒すと解除されます。

注意

●車いす乗降時には、必ずブレーキをかけ、車いすが固定されていることを確認してください。

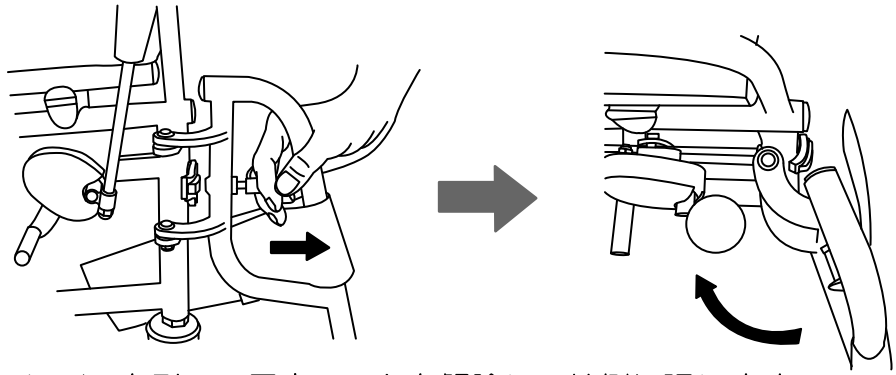
※傾斜地では駐車しないでください。傾斜地ではブレーキをかけても車いすが動く場合があり、大変危険です。

※滑りやすい床面ではブレーキをかけても車いすが動く場合があります。



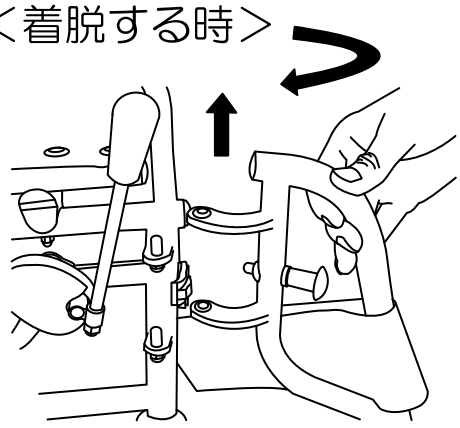
（4）フットサポート（脚部）の使用方法

＜スイングアウトする時＞



レバーを引いて固定ロックを解除し、外側に廻します。

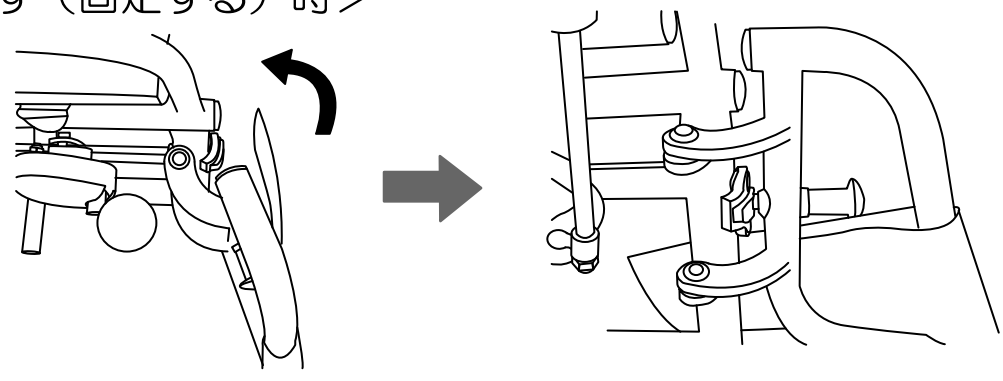
＜着脱する時＞



＜外すとき＞
　上記のように外側にスイングアウトし、フットサポート（脚部）を上に持ち上げます。

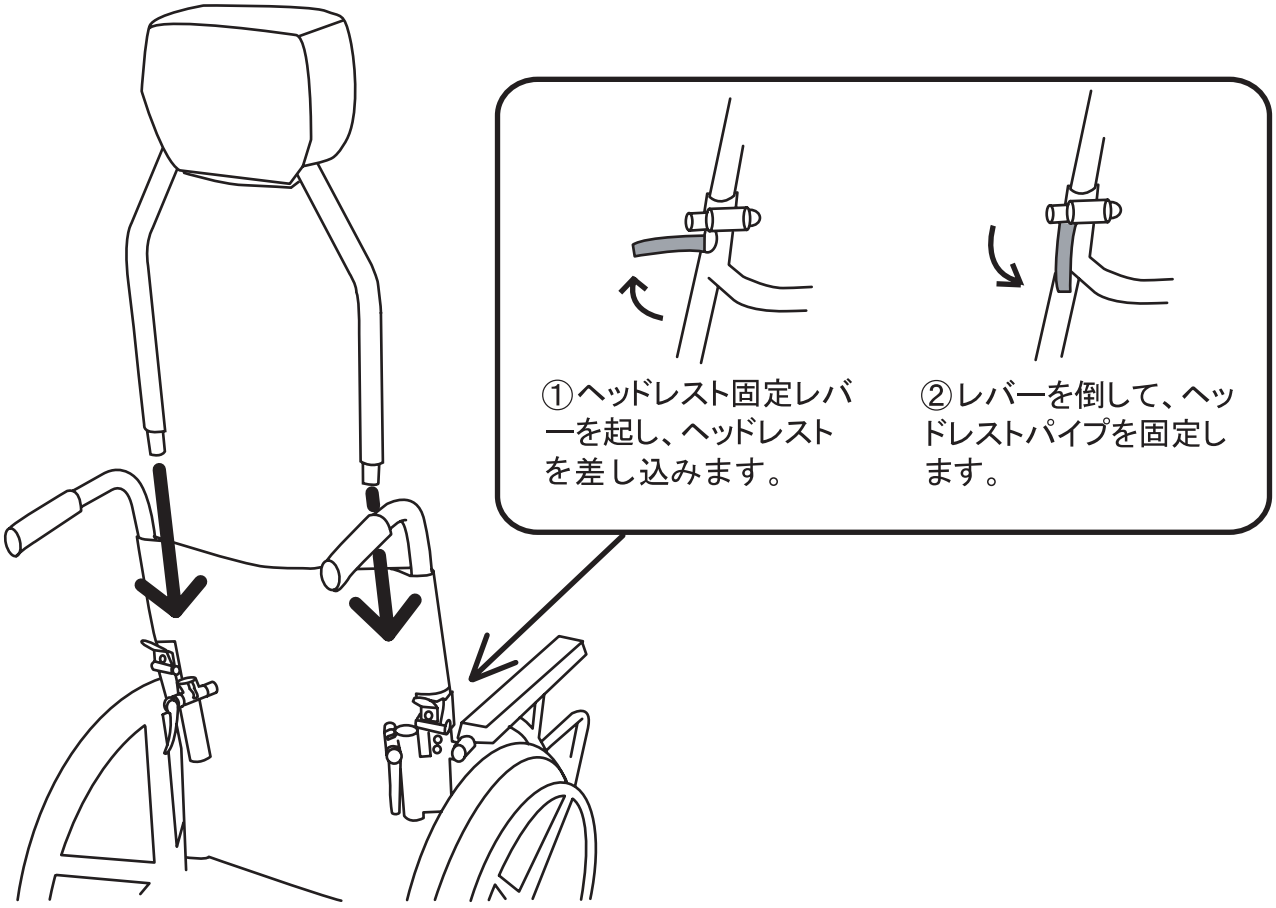
＜装着するとき＞
　フットサポート（脚部）の穴をフレームの突起に差込み下記のように固定します。

＜戻す（固定する）時＞



フットサポート（脚部）を内側に廻します。
※しっかりと固定されていることを必ず確認してください。

（5）ヘッドレストの使用方法



⚠ 注 意

1.車で使用する場合にはヘッドレストを必ず
取り付けてください。

2.ヘッドレストには前後方向があります。取付時には
ご注意ください。
※Rが大きい（カーブが緩やかな）方が前になります。

3.ご利用者が車いすに座っている時は、取付できません。
必ず、誰も乗っていない状態で取り付けてください。

（６）車いすの保守・点検

１ヶ月に一度は安全点検を行ってください!!

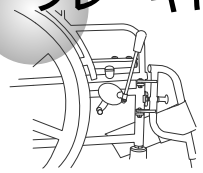
タイヤに空気は充分入っていますか？

空気入タイヤの場合は、空気圧にご注意ください。
タイヤの性質上空気は自然と減っていくので１ヶ月に１回は空気を入れてください。
目安として、タイヤを手で押してもやや硬い程度（軟式野球ボール程度の硬さ）に空気を入れてください。
空気圧が低すぎると駆動が重くなり、またブレーキの効きが悪くなります。
高すぎるとクッション性が悪くなります。

タイヤの溝は十分認識できますか？

タイヤの減りが激しいものはパンクの原因になったり走行性やブレーキの効きが悪くなるので交換が必要です。お買い上げの販売店までご連絡ください。
また、タイヤやキャスタのひび割れにもご注意ください。

ブレーキはしっかり効きますか？

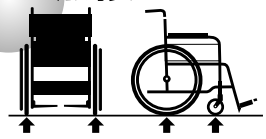


タイヤの空気圧が下がると駐車ブレーキの効きが弱くなります。
空気圧のチェックとともにブレーキの取り付けネジの緩み、ブレーキ本体のガタなどがないかご確認ください。もし異常がございましたら、直ちにご使用をお止めいただき、すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

変な音がしませんか？

変な音がする場合、どこでその音が発生しているかを確認してください。ブレーキワイヤが車輪に擦れている、ベアリング部の油分が不足しているなどの原因が考えられます。
原因が不明な場合、修理不可能な場合はお買い上げの販売店までご連絡ください。

四点接地していますか？



前輪二輪と後輪二輪が接地しているかご確認ください。
四点接地していない場合、フレームの歪みやネジの緩みが考えられます。すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

まっすぐ進みますか？

平地で車いすを左右均等な力で押してください。自然に曲がってしまう場合、どこかが歪んでいる可能性があります。原因となっている箇所の修理・交換を行ってください。

シートに破損やいたみはありませんか？

車いすは湿気に弱いので、雨でぬれる場所などに放置していたり、長時間続けてご使用になるとシートに破損・たるみが発生します。座り心地を損ない姿勢が保ちにくくなりますので、たるみ・破損が著しい場合は交換をおすすめします。

異常が見つかったらご使用を中止してください。

ネジの緩みはありませんか？

ガタがある場合は、ネジの緩みや脱落が考えられます。ネジが緩んでいたら必ずしっかりと締めてください。締めてもすぐに緩む、締まらないなどの不具合があれば、直ちにご使用をお止めいただき、すぐにお買い上げ販売店までご連絡ください。

※下記の仕様の車いすの場合、ネジ類が多くなっています。ネジを確実に締めてください。

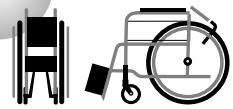
■フットサポートがスイングアウト式の場合

■背もたれが背折れ式の場合

⚠注意

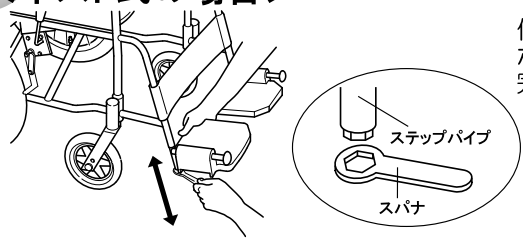
スパナやドライバなどの工具の使用にて締め付ける場合、薄手の手袋をご使用ください。

きちんと折りたためますか？



折りたたみに異常がある場合、クロス金具のネジの緩みや摺動部分の油切れが考えられます。すぐにお買い上げの販売店までご連絡ください。

フットプレートはしっかり固定されていますか？
＜ポスト式の場合＞



付属品のスパナを使って、ステップパイプ先端のボルトを緩め、適当な高さに合わせた後、ボルトを完全に締めてください。

車輪やキャスターはしっかり固定されていますか？

車輪を留めているボルト、キャスターを留めているボルトは緩んでいませんか？
緩んでいると使用中突然車輪やキャスターが外れて転倒するなど大変危険です。
充分ご確認の上、しっかりと締めてください。

ハンドリムはしっかりと固定されていますか？

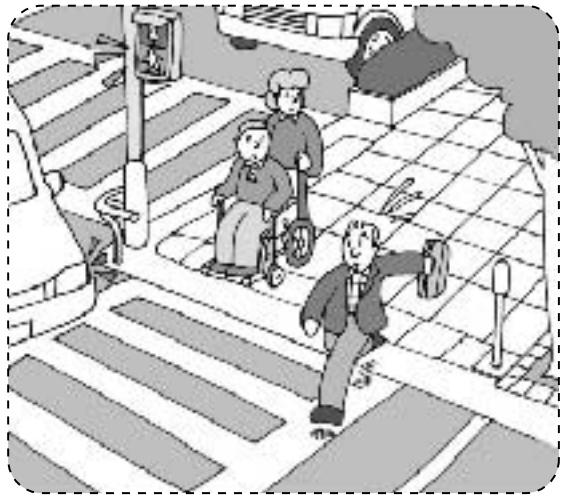
ハンドリムにガタがある場合、取り付けネジの緩みが考えられます。
取り付けネジをしっかりと締めてください。

（7）車いすの主な乗り方

⚠警告

- ●タイヤの空気が十分入っているか確認しましょう。
- ●下り坂は加速がつき危険です。いつでもブレーキがかけられるよう慎重に。
- ●いきなり公道に出るのは危険です。屋内や庭など安全な場所で練習しましょう。
- ●車道はできるだけ通らず、歩道や十分な幅のある路側帯を通りましょう。

車いすは歩行者として取り扱われます。
歩行者としての交通ルールを守りましょう。



- ●「自転車及び歩行者専用」、「歩行者専用」のマークのある歩行者専用道路も通ることができます。
- ●信号機のある場所では、「青」が点滅中に横断するのは危険です。次の「青」信号を待ちましょう。

★焦らずゆとりを持った横断、走行を心掛けましょう。

【 移 乗 】

車いすに乗る方を介助者がベッドなどから移す方法です。
双方にとって安全で負担の少ないことが重要です。
ブレーキがかかっていることを確認してください。

●介助者が片足を相手の膝の間に差し込んで、腰を支えながら立ち上がらせます。

●介助者の膝で相手を支えながら、車いすの方へお尻を向ける。

●ゆっくりと腰を下ろしてもらう。
※「いち、にのさん」と声をかけながらおたがいに協力し合いましょう。

(8)仕　様

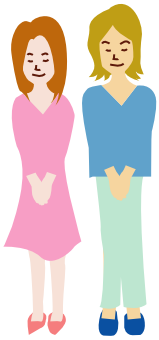
座　幅	(cm)	40
前座高(地面から)	(cm)	41
後座高(地面から)	(cm)	38
シート奥行き	(cm)	40
背もたれ高さ	(cm)	43
肘当て高さ(座面から)	(cm)	24
レッグ長さ	(cm)	33～
押手高さ(地面から)	(cm)	86
全　高(地面から)	(cm)	113 (ヘッドレスト含む)
全　幅	(cm)	60
全　長	(cm)	100
全高(おりたたみ時)(地面から)	(cm)	66
全幅(おりたたみ時)	(cm)	35
全長(おりたたみ時)	(cm)	100
重　量	(kg)	16．5(ヘッドレスト1．7kg含む)
耐荷重	(kg)	100

フレーム	7000系アルミ　シルバー塗装仕上げ　背折れあり
後車輪	グラスファイバー車輪 22in　エアータイヤ　ノーマルハブ
(タイヤ・チューブ)	22in×1-1/4グレータイヤ　英式バルブ
前車輪	6in　ニューソフトキャスタ　樹脂ヨーク付　パッキン式
バックサポート	調整シート(背上のみ)　A16茶紺ﾁｪｯｸ　ポリエステル
ベースシート	調整なしシート　黒　ポリエステル
背クッション	背もたれ2cm厚クッション　ポケット付 A16茶紺ﾁｪｯｸ　ポリエステル
座クッション	3cm厚クッション　中央折りたたみタイプ　ウレタンスポンジ A16茶紺ﾁｪｯｸ　ポリエステル
フットサポート	スイングアウト式
レッグサポート	8cm幅　中割れベルト
ヘッドサポート(ヘッドレスト)	A16茶紺ﾁｪｯｸ　ポリエステル
ステップ板	g.タイプ　黒色　PP
ステップポスト	φ16　スチール
バンパーゴム	黒　天然ゴム
アームサポート	固定式　一体成形軟質樹脂ウレタン製パッド
サイドガード	アルミ
安全ベルト	なし
転倒防止装置	なし
駐車ブレーキ	エッグストップ　ゴールド
手押しハンドルグリップ	φ22用反射板付　黒

(8)仕　様

座　幅	(cm)	40
前座高(地面から)	(cm)	41
後座高(地面から)	(cm)	38
シート奥行き	(cm)	40
背もたれ高さ	(cm)	43
肘当て高さ(座面から)	(cm)	24
レッグ長さ	(cm)	33～
押手高さ(地面から)	(cm)	85
全　高(地面から)	(cm)	136(ヘッドレスト含む)
全　幅	(cm)	59
全　長	(cm)	102
全高(おりたたみ時)(地面から)	(cm)	66
全幅(おりたたみ時)	(cm)	35
全長(おりたたみ時)	(cm)	100
重　量	(kg)	16．5(ヘッドレスト1．7kg含む)
耐荷重	(kg)	100

フレーム	7000系アルミ　シルバー塗装仕上げ　背折れあり
後車輪	グラスファイバー車輪 22in　エアータイヤ　ノーマルハブ
(タイヤ・チューブ)	22in×1-1/4グレータイヤ　英式バルブ
前車輪	6in　ニューソフトキャスタ　樹脂ヨーク付　パッキン式
バックサポート	調整シート(背上のみ)　ポリエステル
ベースシート	調整なしシート　黒　ポリエステル
背クッション	背もたれ2cm厚クッション　ポケット付 ポリエステル
座クッション	3cm厚クッション　中央折りたたみタイプ　ウレタンスポンジ ポリエステル
フットサポート	スイングアウト式
レッグサポート	8cm幅　中割れベルト
ヘッドサポート(ヘッドレスト)	ポリエステル
ステップ板	g.タイプ　黒色　PP
ステップポスト	φ16　スチール
バンパーゴム	黒　天然ゴム
アームサポート	固定式　一体成形軟質樹脂ウレタン製パッド
サイドガード	アルミ
安全ベルト	なし
転倒防止装置	なし
駐車ブレーキ	エッグストップ　ゴールド
手押しハンドルグリップ	φ22用反射板付　黒



地球の環境保護のため、
廃棄するときはそのまま放置しないで
各自治体の取り決めにしたがってください。

株式会社カワムラサイクル
KAWAMURA

ISO 9001 & 14001 REGISTERED FIRM
DNV Certification B.V. THE NETHERLANDS
00898-2004-AQ-KOB-RvA / 00898-2004-AE-KOB-RvA
本社・神戸工場・神戸第二工場・いなみの工場・本店サービスセンター

■本社	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地3−9−1	TEL078-969-2800
■本店サービスセンター	〒651-2411	兵庫県神戸市西区上新地3−9−1	TEL078-969-2820
■さいたまサービスセンター	〒338-0002	さいたま市中央区下落合7-11-2	TEL048-832-0168
■東京サービスセンター	〒110-0013	東京都台東区入谷1−8−3	TEL03-3874-3511
■横浜サービスセンター	〒220-0073	横浜市西区岡野2−12−9	TEL045-290-9585
■名古屋サービスセンター	〒487-0027	愛知県春日井市松本町1−3−11	TEL0568-52-4800
■大阪サービスセンター	〒564-0044	大阪府吹田市南金田2−20−10	TEL06-6190-8488
■福岡サービスセンター	〒819-0055	福岡市西区生の松原1−18−3	TEL092-882-4722

■神戸工場　■神戸第二工場　■いなみの工場　■メンテナンスセンター

修理・お手入れ・お取扱いなどのご相談は、まずお買い求めの販売店へお申し付けください。

・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、上記へ。

2006.9